

～津波から身を守るために～



《津波警報・注意報について》

大きな地震が発生した際、津波による災害の発生が予想される場合に発表される重要な情報です。

津波は**猛スピード**で来襲します。津波が見えてから避難しても間に合わないため、

- ◎ 強い揺れ、弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたとき
- ◎ 揺れがなくても、津波警報（注意報）を見聞きしたとき

は、**すぐに避難**してください！

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	発表される値	表現		
大津波警報	10m超	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、 ただちに高台や避難ビルなどの安全な場所 へ避難してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・木造家屋が全壊、流失する ・人は津波による流れに巻き込まれる
	10m			
	5m			
津波警報	3m	高い	津波は 繰り返し 襲ってきます。警報が解除されるまでは、安全な場所から離れないでください。	<ul style="list-style-type: none"> ・標高の低い所では津波が襲い、浸水被害が発生する ・人は津波による流れに巻き込まれる
津波注意報	1m	表記なし	海の中にいる人は、 ただちに海から上がって海岸から離れて ください。注意報が解除されるまで海岸に近付かないでください。	<ul style="list-style-type: none"> ・海の中では人は速い流れに巻き込まれ、小型船舶は転覆する

《津波からの正しい避難方法》

津波から命を守る一番の方法は、とにかく**早く避難する（逃げる）**ことです！
下の3つのポイントを参考に正しい避難をしてください。

- ① **自らの判断**で避難する（警報等の発表を待たない）
- ② 「より遠く」ではなく、「**より高い**」所へ避難する
- ③ 自分が**率先して**避難者になる

※ 避難する姿を見せることで、周囲の人の避難を促すこともできます！
「ここは大丈夫だろう」と思うことが一番危険です！



《避難場所などを示す標識の例》

海辺の町では下のような津波に関する標識や路面ペイントなどがあります。避難場所や経路を確認する際の参考としてください。



※参考～気象庁資料